議事要旨(4)-② 金融商品専門委員会における検討状況（金融商品に係るIASBでの検討状況(ヘッジ会計)）について

冒頭、加藤副委員長（専門委員長）より、審議事項(4)-②－1に基づき、ヘッジ会計について、IASBにおける検討スケジュールについて説明がなされた。これに続き、丸岡専門研究員より、公開草案からの主要な変更点等について説明がなされた。

説明の後、委員からの発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、わが国の金融機関が多額の株式ポートフォリオを保有している点に鑑みると、公開草案ではヘッジ会計の対象外とされていたFVOCI指定の資本性金融商品が、再審議の結果、ヘッジ会計の対象とされたことは非常に重要な変更だったとの意見があった。また、同委員から、オプションの時間価値に関する扱いを援用して、先物予約の直先差額も期間対応でPL認識することを認めることとなった点も、円で資金を調達し、ドル円で資金を運用しているわが国金融機関にとって、非常に重要な明確化だったとの意見があった。同委員は、今後マクロヘッジなどに関する議論が始まるが、基本的に、わが国金融機関のリスク管理にフィットするようなヘッジ会計基準を目指して、意見発信をしていくことが重要とした。これに加え、同委員からは、事務局に対し、クレジット・デリバティブを使った信用リスク管理に関するIASBの議論の状況について質問があった。これに対し、事務局からは、対象債権についてFVOを適用する方向で進めている模様であるが、詳細を把握次第、次回以降の委員会で報告したい旨の回答がなされた。

以　上

財務会計基準機構の Web サイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。